

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	総合文化祭（西木地区）補助金								
担 当 課 係 名	西木公民館 課		-		係		作成者	浅利一美	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱		明日を担う人材を育む教育文化のまち						総合計画の ページ
	基本計画		生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
	主要施策		社会教育活動の充実						95
予 算 費 目	一般 会計		10 款 教育費		5 項 社会教育費		2 目 公民館費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分				継続		
性 質 区 分	☐ 市民サービス		☐ 公共事業		☐ 施設維持管理		☒ 補助金		☐ 内部管理
根 拠 法 令 等									
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務						
運 営 方 法	☐ 直 営		☐ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託(全部)		☒ 補 助		

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	市民
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	市民の芸術文化活動への参加意欲を高め、発表の場を提供すると共に、芸術文化の振興発展に寄与する。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	市民、公民館、サークルの作品展示。西木地区保育園小学校の作品展示。西木芸文協加盟団体芸能発表。手作り体験。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
	活動指標	所要日数		目標	日	7	8
効果	成果指標			実績	日	7	8
				達成度	%	100.0%	100.0%
				目標	人	700	700
	成果指標			実績	人	400	500
				達成度	%	57.1%	71.4%
				達成度	%	71.4%	71.4%
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)				150	150	150
	人 件 費 (B)		—		314	242	238
	財源内訳	職 員 数		—		0.04	0.03
		職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071
						7,925	7,925
	(A) + (B) 投下コスト				464	392	388
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源				464	392
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		66,286	49,000	48,500
	市民1人当たりのコスト(円)		—		15	12	12

【事務事業の今までの成果】

西木地区住民の生涯学習の成果を発表する機会を作ることができた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	同様に開催されている
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	飲食店出店やフリーマーケットの開催

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	実行委員会を組織して行っているため
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	市内における芸術文化振興や、活動成果を発表する場として重要な事業です。今後は各地区の特長を活かし、充実を図りながら、市全体の文化祭としての開催ができないか検討が必要と考えます。

一次評価診断図

